

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

定植時防除 ～コナジラミ類対策～



タバココナジラミ

大きさは約0.8mm。最適温度は25～30℃。
排泄物が付着した葉や果実にすず病が発生
すると商品価値が下がってしまう。
作物によっては、ウイルスを媒介する危険がある。



すす病



オンシツコナジラミ

大きさは約1.2mm。最適温度は20～28℃。
寄生する植物が多いため、多作物や雑草からの
飛来によって多発する。

冬			春			夏			秋		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			●—————●			●—————●			●—————●		

冬			春			夏			秋		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			●—————●					●—————●			

	IRAC	対象害虫	薬剤名	希釈倍数 使用量	使用 時期	回数	影響日数	
							ミツバチ	マルハナ
粒 剤	4A	コナジラミ類・アブラムシ類 ミナキハダアザミウマ	ベストガード粒剤	1～2g/株	定植時	1回	45日↑	21日↑
		アブラムシ類※・コナジラミ類 アザミウマ類・ハモグリバエ類	アルバリン粒剤	1～2g/株 (※1g/株)	定植時	1回	21～ 40日	10日 (加22日)
灌 注	28	アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類 ハモグリバエ類・ネリムシ類	ベリマークSC	25mL/400株	育苗期後半 ～定植当日	1回	1日	1日
		アブラムシ類・コナジラミ類 ハモグリバエ類・オオハバコガ・ハスモンヨトウ	兼商ヨーバルフロアブル	200倍	育苗期後半 ～定植当日	1回	1日	1日(加)
	23	うどんこ病・アブラムシ類・ハダニ類 コナジラミ類・アザミウマ類・チャノコリガミ	モベントフロアブル	500倍	育苗期後半 ～定植当日	1回	1日	45日
散 布	15	アザミウマ類・オオハバコガ	マッチ乳剤	2,000倍	前日	4回	1日	0日
	5	アザミウマ類・オオハバコガ※	スピノエース顆粒水和剤	2,500～5,000倍 (※5,000倍)	前日	2回	3日	3～7日

+ 病害対策にはこちら！

対象病害虫によって希釈倍率が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

FRAC	対象病害虫	薬剤名	予防	治療	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数	
								ミツバチ	マルハナ
1	半身萎凋病	ベンレート水和剤	○	○	500倍(灌注)	定植後～ 収穫14日前	3回	1日	1日
	褐紋病※・菌核病※ 黒枯病・フザリウム立枯病 等				2,000～3,000倍 (※2,000倍)	前日			
19	うどんこ病・すすかび病 灰色かび病 アザミウマ類・ハダニ類	ポリオキシシンAL水溶剤	○	○	5,000倍	前日	3回	0日	0日

おすすめ資材

日差しに負けない
根張りのために!!

ピュア酸素

- ☆ 土壤に酸素を供給し、
根の活動を活発に！
☆ 肥料・葉面散布剤の
吸収を良くします！

5~10kg/10a
7~10日おき灌水処理



海藻サンバ

肥料登録番号
生第101491号

イノチオの新しいバイオステュミラント！
育苗期の発根促進剤

- ▶ コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
 - ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
 - ▶ 転流を促進
- 

育苗期・生育期
1,000倍



毎月1日掲載
各作物をチェック！

